

令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年3月6日
函館市立五稜郭中学校

1 本年度の教育目標

【重点教育目標】 自己を見つめ 良さを磨き 高め合う 生徒の育成
【今年度KEY WORD】 ◆確かな学びづくり（意欲と協働）
◆魅力ある学校づくり（自律と協調）

2 本年度の取組の重点

【施策1】 生徒一人一人の存在を大切にする学校教育の推進
【施策2】 生徒の資質・能力を高める上質な授業の提供
【施策3】 生徒主体の教育活動を生かした学校風土の醸成
【施策4】 教育的使命感に立脚したつながりのある教職員集団の構築
【施策5】 学校・家庭・地域が一体となった新たな学校教育の創造

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
施策1	①生徒に居場所のある学級経営を推進したか。	a	委員会活動、当番活動、各種行事などで、生徒が活躍する場面を設定するようにしている。今後もさらに工夫改善を加えながら継続する。	A	A	少数意見にも耳を傾けましょう。（C・D評価している保護者・生徒も大切に）
	②共感的理解に基づく支援・指導を推進したか。	a	ふれあい活動、教育相談、チャンス相談に客観的資料（調査・アンケート等）も活用して、確かな生徒理解に繋がっている。今後も継続する。	A	A	
施策2	③ICTを効果的に活用した授業改善を推進したか。	a	校内研修や職員間の同僚性を発揮してICTの活用について	A	A	
	④合理的配慮を取り入れた授業づくりを推進したか。	b	工夫はしているが、まだ改善の余地あり。校内研修による組織的な取組で授業改善を継続する。	A	A	
施策3	⑤生徒の主体的な取組を通して規範意識を醸成したか。	a	主体的な取組を計画・実施することができた。全生徒のものとなっていない活動もある	A	A	生徒主体の取組・活動は充実してきている。さらによいものを目指して工夫を。
	⑥生徒に成就感を感じさせる活動を推進したか。	a	ため、内容のさらなる質的改善を図る。	A	A	
施策4	⑦校務の効率化と質の充実を実感できたか。	b	コアチームを中心に、持続可能でより効果的な取組を継続する。	A	A	
施策5	⑧CSを活かした教育課程の改善を推進したか。	a	主にキャリア教育の推進において、地域（外部）の方を講師とした授業、地域に出て学ぶ授業を実施している。今後も継続する。	A	A	活動は充実している。広報活動（保護者や地域）を工夫し、学校（教師・生徒）・家庭・地域がいっしょになってつくりあげようになりたい。

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。